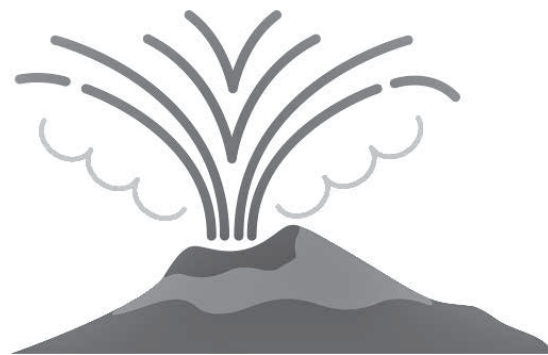




次の噴火に備えて

有珠山火山噴火総合防災訓練実施



有珠山に関する状況確認を行う災害対策本部

10月15日、有珠山噴火を想定した総合防災訓練を西胆振1市3町（伊達市、壮瞥町、豊浦町、洞爺湖町）合同で実施し、避難対象区域の住民や防災関係機関など、約100人が参加しました。

今回の訓練は、当日9時に室蘭地方気象台より有珠山の噴火警戒レベルがレベル2（火山周辺への立入規制など）からレベル4（避難準備）に引き上げられたことに伴い、避難対象区域の町内16自治会に対し「高齢者等避難」を発令したことによる避難所開設や運営訓練を実施しました。

参加した住民は、洞爺総合センターと豊浦町ふるさとドームの2か所に避難し、防災講話を聞いた後、避難者の検温・受付、段ボールベッドや間仕切り、トイレの組み立てなど実践的な訓練を行いました。

参加した住民は「実際に訓練に参加して、講話を聞いたり、避難所の開設など、いい勉強になった。日ごろから災害に対して準備をしておきたいです」と話していました。

また、役場防災研修ホールでは災害対策本部

避難所開設・運営訓練の様子

▼段ボールベッドの組み立て



▲避難者の受付

を設置し、有珠山に関する状況や各対策班からの報告・対応について確認。

真屋敏春災害対策本部長は「2000年の有珠山噴火から20年以上が経過し、前回の噴火を経験した職員も少なくなってきた。地域住民の生命や財産を守ることに徹し、若手職員にも指導しながら、本番に備えてほしい」と総括しました。

ワンポイント手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第38回目は教育委員会社会教育課澤野慶子です。

■問合せ 健康福祉課福祉・高齢者グループ (☎ 74-3001)

「避難所」



両手をグーにして交互に腕を振ります。



右手指を折り曲げて指を下に向け軽く下に下ろします。